

概要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 本日（29日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約4,600名態勢、航空機延べ29機で活動。
自衛隊の主な活動	【人命救助活動】 ○ 商業施設（イオンモール熊本）において、陸自第8偵察隊（北熊本・熊本）、第42即応機動連隊（北熊本・熊本）、第8後方支援連隊（北熊本・熊本）及び第8師団司令部（北熊本・熊本）の人員約170名で人命救助活動を実施中。 ○ 日本製紙八代工場において、陸自西部方面特科連隊（北熊本・熊本）の人員約30名で人命救助活動を実施中。 ○ 海自呉災害救助犬×3頭及び人員4名、空自築城災害救助犬×2頭及び人員4名、空自新田原災害救助犬×4頭及び人員11名が、それぞれ陸自健軍駐屯地（熊本）で待機中。 【輸送活動】 ○ 本日（29日）0207、陸自第8飛行隊（高遊原・熊本）のUH-60×1機にて患者後送（民間人8名）を実施。 ○ 本日（29日）1400、熱中症対策のため、経済産業省をはじめとする関係省庁と連携し、クーラー約300台を入間基地から熊本空港へ空自第2輸送航空隊（入間・埼玉）のC-2により輸送を実施。県のニーズに基づき、熊本空港から各避難所等へ、陸自西部方面輸送隊（健軍・熊本）、陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）が輸送を実施中。 ○ 海自の艦艇5隻（ぶんご、げんかい、えんしゅう、水中処分母船5号、いせ）が、生活支援物資輸送のため、八代港へ向け前進中。 【給水支援活動】 ○ 本日（29日）0630以降、給水支援活動を順次実施中。 ・ 八代市役所：0630以降、陸自西部方面特科連隊（北熊本・熊本）の人員約10名、水トレーラー3両で給水支援開始。 ・ 宇城市内5箇所：0730以降、陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）の人員約25名、水トレーラー5両で給水支援開始。 ・ 上益城郡嘉島町体育館：0850以降、陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）の人員約5名、水トレーラー2両で給水支援開始。 ・ 宇土市：0732以降、陸自第42即応機動連隊（北熊本・熊本）の人員約10名、水トレーラー3両で給水支援開始。 ・ 上益城郡御船町：0730頃、陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）の人員約10名、水トレーラー2両で給水支援開始。 ・ 熊本市2箇所：1126以降、陸自第8高射特科大隊（北熊本・熊本）の人員約20名、水トレーラー3両で給水支援開始。 ・ 上天草市内4箇所：1155以降、陸自第5地对艦ミサイル連隊（健軍・熊本）の人員約20名、水トレーラー4両で給水支援開始。 ・ 氷川町2箇所：陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）の人員約10名、水トレーラー1両で給水支援開始。 【連絡員の派遣状況】 ○ 連絡員について、熊本県庁等に、最大47箇所・約125名派遣。

活動の様子（7月29日）



商業施設でがれき撤去にあたる隊員



倒壊した家屋で人命救助にあたる隊員



患者後送にあたる隊員



水中処分母船5号

2026 07 29



クレーンを搭載するC-2



給水支援活動を行う隊員